

旭丘・小竹地域における 小中一貫教育校について



令和4年12月16日・17日

練馬区教育委員会事務局
教育振興部 教育施策課・学校施設課

目次

1 小中一貫教育校の概要

- 小中一貫教育校の校舎等イメージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 これまでの検討経過

- 主な検討内容と説明会等の開催経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

3 今後の取組

- 今後の検討事項およびスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 改築工事スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

4 旭丘小学校・旭丘中学校のメモリアル

- メモリアル品の選定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- アンケート実施結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- メモリアル品の保存方法（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- メモリアル動画の作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

5 担当および連絡先

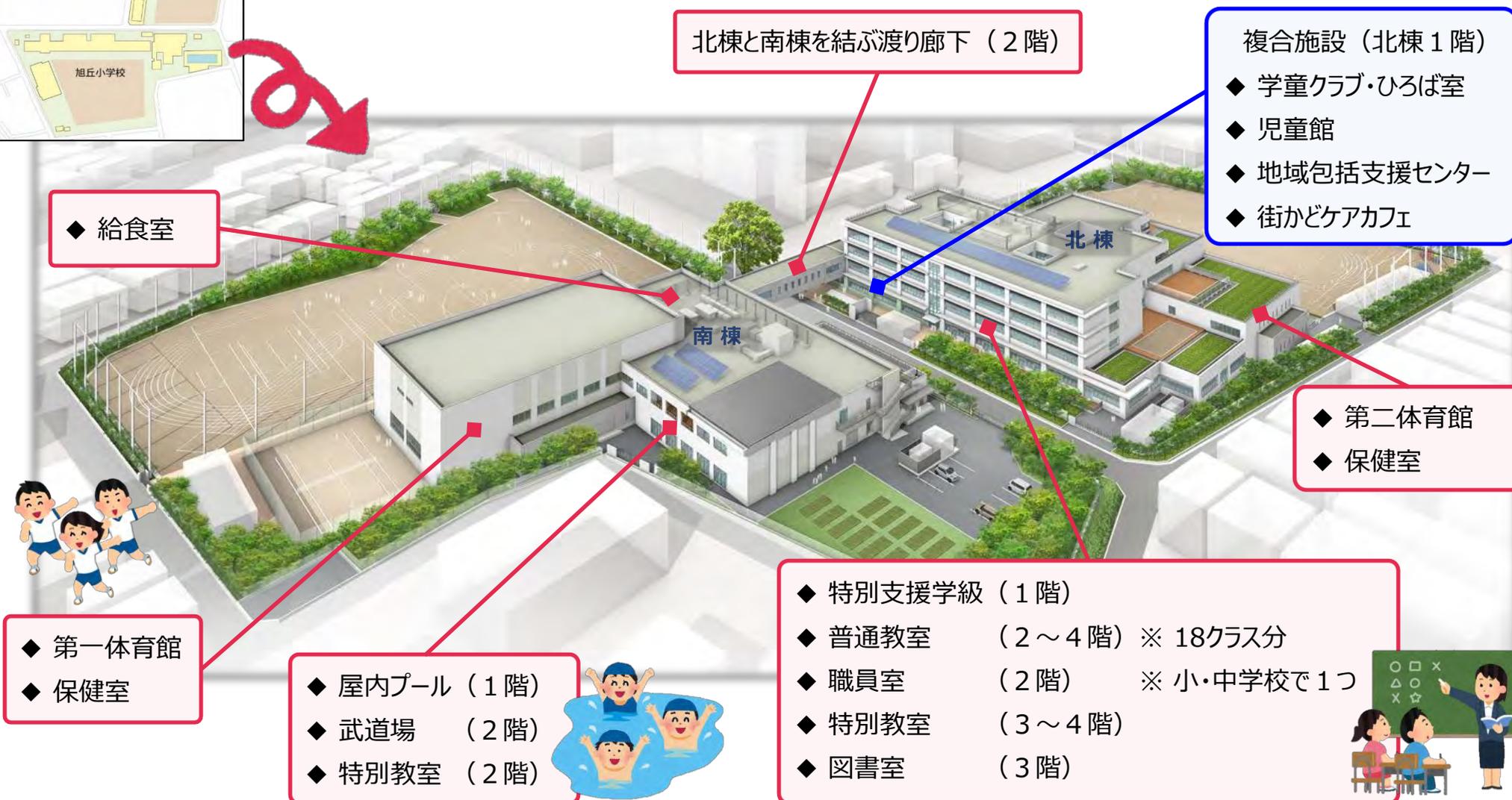
- 担当および連絡先一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

1 小中一貫教育校の概要

現在の旭丘小学校・旭丘中学校



小中一貫教育校の校舎等イメージ



2 これまでの検討経過

■ 主な検討内容と説明会等の開催経過

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
校舎の工事	設計に向けた要件整理	基本設計	実施設計	仮設校舎建設 令和5年1月中旬～
主な検討項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校づくりの進め方 ● 開校に向けた検討事項の整理 ● 学校改築の基本的な考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新校舎等の平面計画 ● 仮設校舎等の配置計画 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新校舎等の平面・立面計画 ● 仮設校舎等の配置・平面計画 ● 旭丘小学校・旭丘中学校のメモリアル品の保存 	<ul style="list-style-type: none"> ● 旭丘小学校・旭丘中学校のメモリアル品の保存 ● メモリアル動画の撮影 ● 校名・校章等の決め方の検討
小中一貫教育校推進委員会	令和元年10月設置 4回	2回	2回	4回(予定)
保護者および地域説明会	12月22日	1月 〔区ホームページに 検討状況を掲載〕	7月9日・10日	12月16日・17日
改築工事にかかる説明会	—	—	3月11日 改築計画の説明①	11月18日 12月15日 改築計画の説明② 仮設校舎 建設工事の説明

※ これまでの主な意見と回答は、別添「これまでの保護者および地域説明会・小中一貫教育校推進委員会で寄せられた主な意見等に対する区の考え方」を参照

3 今後の取組

(1) 今後の検討事項およびスケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	開 校
校名 	決め方の検討 (推進委員会)	検討 ★ 仮決定・公表		★ 正式決定 (規則改正)	
校章 	決め方の検討(概算費用の決定) (推進委員会)	検討 ★ 決定		校章バッジ等の作成	
校歌 	決め方の検討(概算費用の決定) (推進委員会)	検討	作成 ★ 完成	体育館の校歌版等の作成	
標準服 	決め方の検討(概算費用の決定) (推進委員会)	検討(導入有無) ★ 導入有無決定	検討(デザイン等) ★ デザイン等決定	標準服の作成 販売準備等	

小中一貫教育校の校名(通称名)について



小中一貫教育校の校名は、一貫校としての一体感を醸成するためのチーム名としての名前です。
 条例上の正式名称は、小学校名と中学校名とで別々になります。

	通称名	小・中学校名
使用例	・校名板 ・学校要覧 ・ユニフォーム など	・卒業証書 ・在学証明書 など

(2) 改築工事スケジュール



R5年1月中旬～7月

- 旭丘小の校庭に仮設校舎を建てます (■の部分)



R5年8月～R6年1月

- 特別支援学級の児童と中学生が仮設校舎に引越します
- 旭丘小・旭丘中の一部を解体します (■の部分)



R6年2月～R7年2月

- 新校の教室や体育館、プールなどを建てます (■の部分)



R7年3月～11月

- 3月に新校の第一体育館、プール、などが完成します (■の部分)
- 北側の仮校庭を整備します



R8年1月～5月

- 7年12月に新校の教室、第二体育館が完成します (■の部分)
- 仮設校舎を解体します (■の部分)



R8年6月～8月

- 旭丘小の残りの校舎を解体します (■の部分)



R8年9月～12月

- 南側の校庭を整備します



R9年1月～

完成!



★ 冬休み(12月)に児童・生徒が新校舎に引越します

4 旭丘小学校・旭丘中学校のメモリアル

小中一貫教育校の開校に伴い、旭丘小学校・旭丘中学校の歴史を保存するため、両校の歴史に関する物品の一部を、メモリアル品として新校舎に展示します。

(1) メモリアル品の選定方法

① アンケートを実施

〔配布先〕

- 旭丘小学校、小竹小学校、旭丘中学校の児童・生徒、保護者
- 旭丘・小竹地域の方
- 近隣幼稚園・保育園等の保護者

② 結果をもとにメモリアル品を3つに分類

- A** 現物を新校に持っていくもの
- B** 写真・動画として残すもの
- C** 希望者に譲るもの
(Bのうちの一部)

展示スペースのイメージ



(2) アンケート実施結果

■ 実施期間

令和4年7月5日(火)～9月2日(金)



たくさんの投票
ありがとうございました!

■ 回答数と内訳

	人数	票数		
		旭丘小メモリアル	旭丘中メモリアル	合計
児童・生徒、保護者	273	1,170	564	1,734
旭丘・小竹地域の方	26	65	150	215
その他	5	14	18	32
合計	304	1,249	732	1,981

(3) メモリアル品の保存方法 (案)

A

現物を新校に持っていくもの

※ 【】の数字はアンケート順位



旭丘小学校

校内のショーケースに展示

【1】心のかぎ



【2】トロフィー、盾、メダル等(一部)



【3】校旗



【5】校名版(1~2枚)



【6】校章パネル等



【他】クラスプレート



屋外に展示 (場所は未定)

【7】二宮金次郎像



【10】学校創設記念碑



※ 古いものであるため、移設時に破損の可能性あることをご了承ください。



旭丘中学校

校内のショーケースに展示

【1】校名版



【2】校旗



【5】〔部活動〕トロフィー等(一部)



【7】〔野球部〕トロフィー等(一部)



屋外に展示 (場所は未定)

【3】クマの銅像



【8】石碑「徳峯智泉」



※ 古いものであるため、移設時に破損の可能性あることをご了承ください。

B 写真・動画として保存するもの ※【】の数字はアンケート順位



旭丘小学校

- | | |
|-------------------------|---|
| 【4】校歌（木製） | 【16】石像 |
| 【8】賞状 | 【17】顔のタイル |
| 【9】壁掛けパネル
（オリンピック関係） | 【18】旭丘ブギウギ |
| 【11】航空写真 | 【19】絵画「ゲルニカ」 |
| 【12】メタリックアート | 【20】石碑（昭和10年10月18日） |
| 【13】校歌（板） | 【21】粘土製の顔 |
| 【14】絵画「早春」 | 【22】絵画「ミロホアン」 |
| 【15】魚の彫刻 | 【他】ビオトープ、あさひ山、桜の木、
夏みかんの木、枇杷の木、ジャングルジム |

※ **A** のうち、移設しないトロフィーや校名版などは写真や映像で残します。

※ 図書室の本などは学校で対応。



旭丘中学校

- | | |
|-------------------------|--|
| 【4】校歌（布製） | 【17】書「何を求める風の中いく」 |
| 【6】石碑「校歌」 | 【18】書「教育目標」 |
| 【9】〔部活動〕賞状、写真等 | 【18】旭丘町会70周年記念
すみ乃南玉氏寄贈
※寄贈者が分かれば返却も検討 |
| 【10】〔野球部〕軟式野球大会
出場記念 | |
| 【11】航空写真 | 【20】壁掛けパネル（刺繍） |
| 【12】賞状、感謝状 | 【他】制服、和室、梅の木、
中庭の草木 |
| 【13】校舎イメージ図 | |
| 【14】灯籠 | |

※ **A** のうち、移設しないトロフィーや賞状などは写真や映像で残します。

※ 【15】時計、【16】木碑「念ずれば花ひらく」（過去の校長先生の作品）、
【他】の時計や図書室の本などは学校で対応。

新校に移設しないメモリアル品をお譲りします

上記のうち、児童・生徒や卒業生などへ譲渡できるものは、現校舎を解体する前に学校のホームページ等でお知らせし、お渡しする場を設けます。



旭丘中学校

令和5年度前半予定



旭丘小学校

令和7年度予定

(4) メモリアル動画の作成

アンケートの結果を参考に、児童・生徒にとって思い出となるものや、現在の校舎での生活風景などを撮影し、旭丘小学校・旭丘中学校のメモリアル動画を作成します。

撮影場所・撮影内容

旭丘小学校・旭丘中学校

- 校舎、校庭、卒業制作など、児童・生徒の思い出となるもの
- 大きな木や石碑、石像など、新しい学校へ移設できないもの
- 教室や廊下、校庭などでの児童・生徒の日常生活の様子



10月～11月にかけて撮影を実施し、現在、編集作業を行っています。
メモリアル動画の完成は令和5年3月頃の予定です。

完成したメモリアル動画は、学校のホームページでご覧になれます。

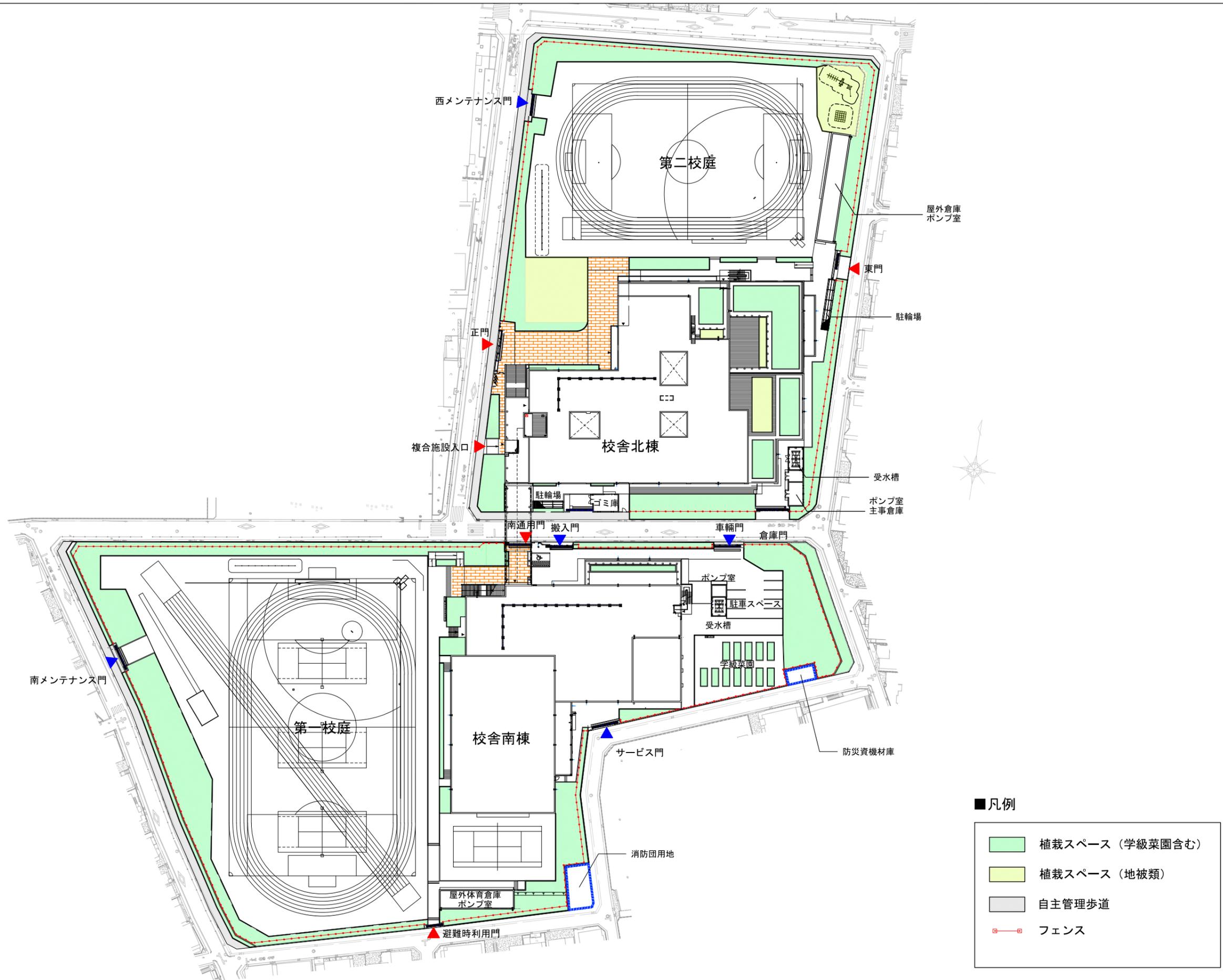


5 担当および連絡先

内 容	問い合わせ先	電話番号	メールアドレス
○ 今後の検討事項、スケジュール等に関すること	教育施策課	5984-1034	ATGAKKO@city.nerima.tokyo.jp
○ 通学区域に関すること ○ 就学に関すること	学務課学事係	5984-5659	GAKUMUKA@city.nerima.tokyo.jp
○ 特別支援教育に関すること	学務課就学相談係	5984-5664	GAKUMUKA@city.nerima.tokyo.jp
○ 新たな小中一貫教育校の事業計画に関すること ○ 仮設校舎の建設工事に関すること ○ 学校施設の改築・改修に関すること	学校施設課	5984-5723	SISSETUQSYOKU@city.nerima.tokyo.jp
○ 小中一貫教育に関すること ○ 大泉桜学園に関すること ○ 学習内容や学校行事に関すること	教育指導課	5984-5759	SHIDOSHITSU@city.nerima.tokyo.jp
○ 新たな小中一貫教育校の設計内容に関すること ○ 新校舎の建設工事に関すること	施設整備課	5984-2457	SISSETUSEIBI@city.nerima.tokyo.jp
○ 児童館、学童クラブ等に関すること	子育て支援課	5984-5827	KOSODATE03@city.nerima.tokyo.jp
○ 街かどケアカフェに関すること ○ 地域包括支援センターに関すること	高齢者支援課	5984-4582	KOUREISYASIEN01@city.nerima.tokyo.jp



☞ QRコードを読み込んでスマートフォンからご意見・ご質問を送ることができます。お送りいただいた内容は、今後の取組の参考にさせていただきます。

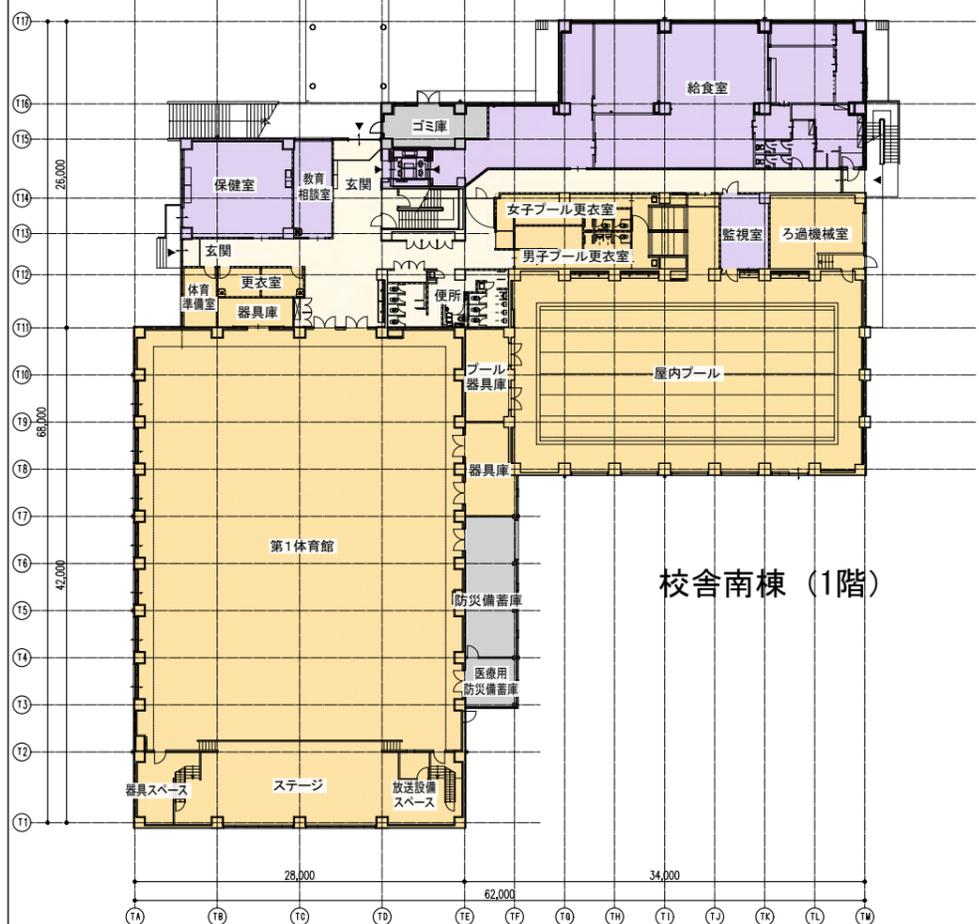




校舎北棟 (1階)



校舎北棟 (2階)



校舎南棟 (1階)



校舎南棟 (2階)

凡例

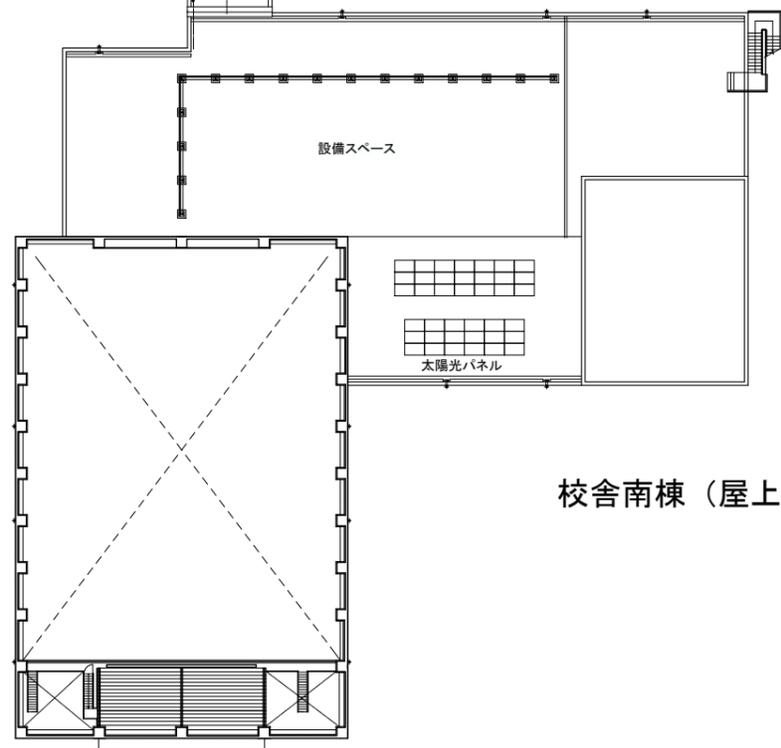
普通教室・少数数教室	特別支援教室	学童クラブ	特別教室	体育関連諸室
管理諸室・給食室	複合化施設	防災倉庫・ゴミ庫	廊下・階段等	



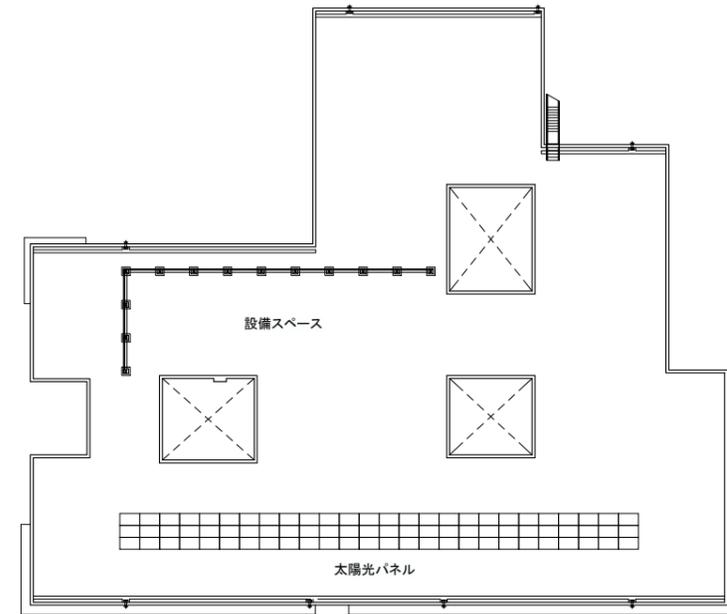
校舎北棟 (3階)



校舎北棟 (4階)



校舎南棟 (屋上階)

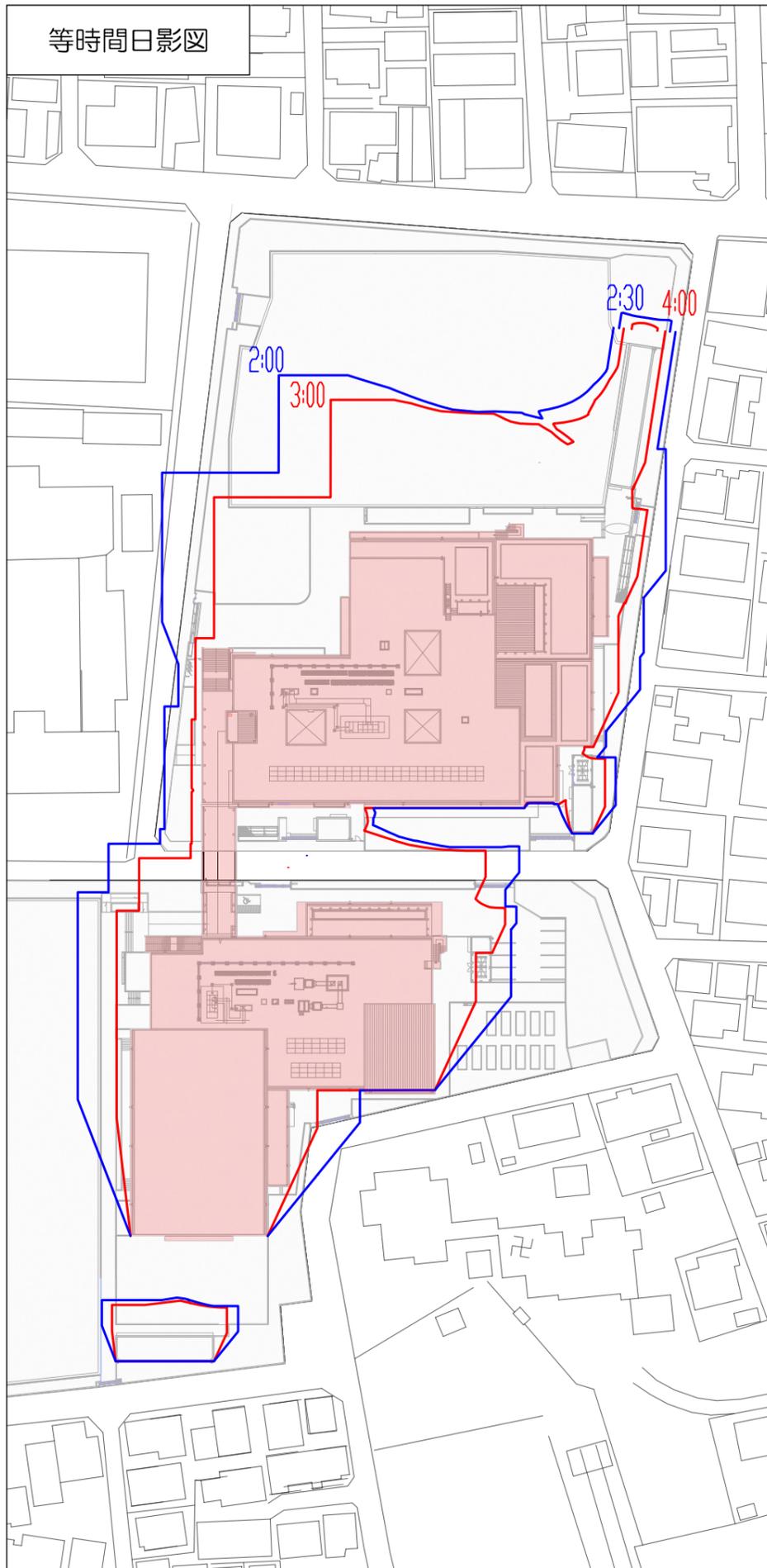


校舎北棟 (屋上階)

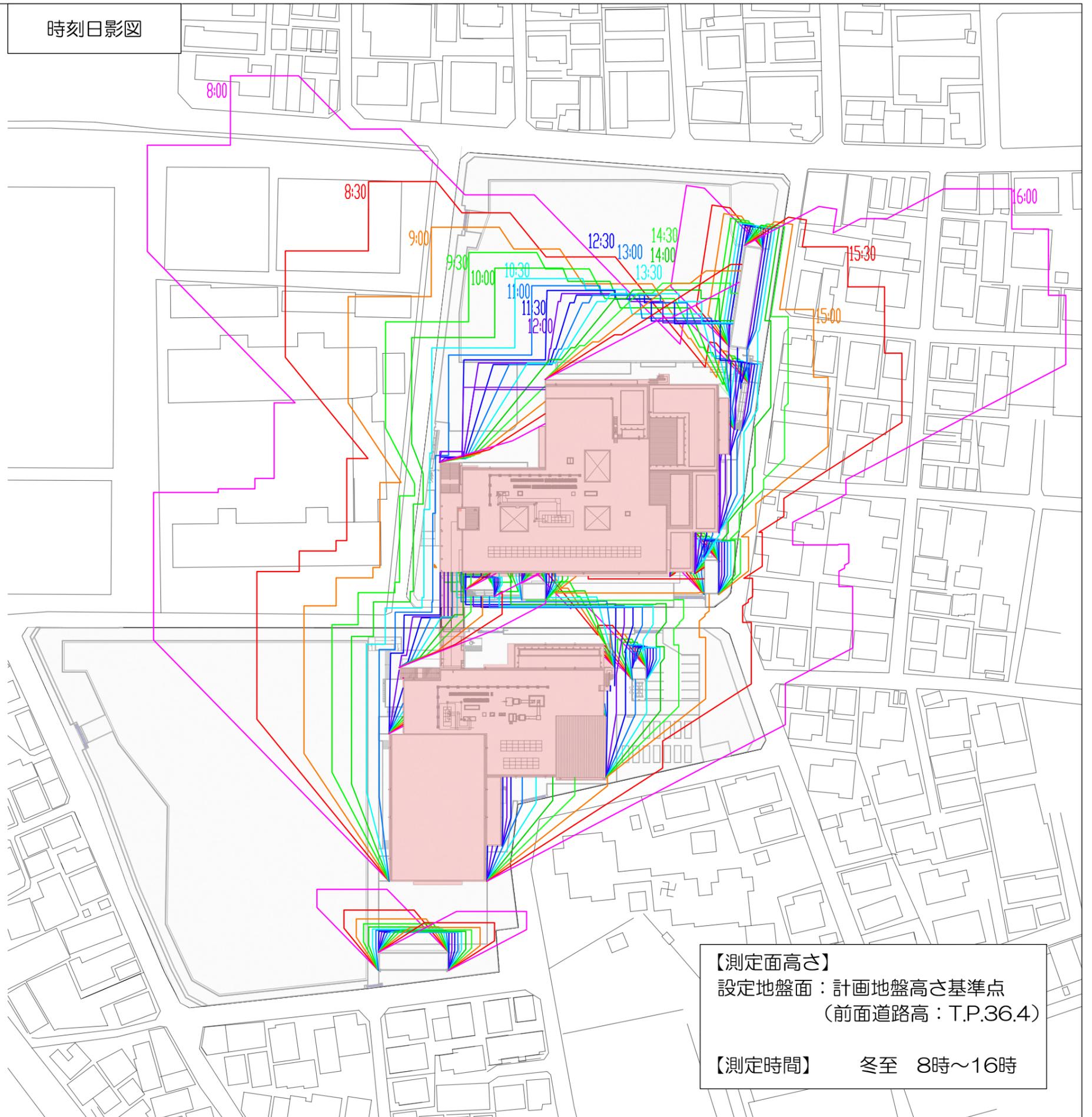
凡例

普通教室・少数教室	特別支援教室	学童クラブ	特別教室	体育関連諸室
管理諸室・給食室	複合化施設	防災倉庫・ゴミ庫	廊下・階段等	

等時間日影図



時刻日影図



【測定面高さ】
 設定地盤面：計画地盤高さ基準点
 （前面道路高：T.P.36.4）

【測定時間】 冬至 8時～16時

これまでの保護者および地域説明会・小中一貫教育校推進委員会で寄せられた
主な意見等に対する区の考え方

I 小中一貫教育等について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
1	○なぜ区は小中一貫教育の取組を進めているのか。	○区では、小学校と中学校が学習指導や生活指導における連携を図り、9年間を見通した指導方針のもとで子どもたちを育てる小中一貫教育に取り組んでいます。 ○また、全ての小・中学校で、中学校区を基盤として「学力・体力の向上」「豊かな人間性・社会性の育成」「安定した学校生活」等を柱に様々な連携活動を実施するなど、小中一貫教育の取組を推進しています。 ○区教育委員会では、「練馬区教育・子育て大綱」において「夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備える子どもたちの育成」を目標として掲げています。小中一貫教育はこの目標を実現するための施策の一つであり、①授業改善による学力・体力の向上、②連携指導による豊かな人間性・社会性の育成、③滑らかな接続による安定した学校生活の確保をねらいとしています。
2	○なぜ施設一体型小中一貫教育校にする必要があるのか。	○旭丘小学校・小竹小学校・旭丘中学校の3校は平成23年度から小中一貫教育に取り組んでおり、地域特性を活かした3大学との連携についても進めています。これまで3校が取り組んできた実績を踏まえ、新たな施設一体型小中一貫教育校を設置することで、より高い教育効果を発揮できるものと考えています。
3	○小中一貫教育校となる場合、通常の小学校の教育プログラムを終了した児童が編入することは可能か。可能である場合、デメリットの有無も教えてほしい。	○施設一体型小中一貫教育校も中学校選択制度の対象としており、他の小学校から一貫中学校へ入学したり、一貫小学校から他の中学校へ進学したりすることも可能です。 ○また、小中一貫教育校であっても、授業の先取り等を行わず、学習指導要領に基づいて学習指導を行っているため、他の小学校からの入学や他の中学校への進学に対しても支障がないよう対応しています。

4	<p>○施設一体型小中一貫教育校のメリット・デメリットはなにか。</p>	<p>○施設一体型小中一貫教育校では、同一施設内である利点を活かし、「教員間の連携強化」「異学年交流の活性化」「同一施設内での円滑な移行」等により、教育効果が高まることが期待できます。</p> <p>○一方、9年間を一貫した学校に在籍するため、人間関係が固定化されやすいことや、他の小中学校のように児童・生徒が区切りを意識して新たな学校生活をスタートさせることが難しいなどのデメリットもあります。こうしたデメリットについては、様々な異学年交流の実施や学年段階の区切りを設けること等により、解消できるよう学校で対応しています。</p> <p>また、クラブ活動や移動教室等の様々な機会を捉えて6年生がリーダーシップを発揮できる場を創出するなど、学年の枠にとらわれない弾力的な教育活動と小学校・中学校の区切りを意識したメリハリのある教育活動の両立ができるよう取り組んでいきます。</p>
5	<p>○魅力的な小中一貫教育校とするためには、ハード面だけでなくソフト面も充実させていく必要がある。</p>	<p>○9年間の一貫した教育活動を活発に展開することができる施設一体型の利点を生かし、小中学校教員が一体となって学力・体力・豊かな心が調和した学びの充実を図っていきたいと考えています。</p> <p>○また、準備期間中においても、引き続き、新校の開校を見据え、小中一貫教育の取組、教育内容の充実を図るとともに、保護者および地域の皆様からご意見を伺いながら旭丘・小竹地域の特性をいかした魅力ある学校づくりを進めていきます。</p>
6	<p>○区内における施設一体型小中一貫教育校の設置状況は。</p>	<p>○区内における施設一体型小中一貫教育校としては、平成23年4月に、大泉桜学園を開校しています。</p>
7	<p>○大泉桜学園にも特別支援学級はあるのか。小中一貫教育校になることにより、どのような効果があったか。</p>	<p>○大泉桜学園には特別支援学級はありません。</p> <p>○現在、旭丘小学校の特別支援学級と旭丘中学校の特別支援学級では、定期的に合同の調理実習などの交流を実施しています。施設一体型の小中一貫教育校になることで、より日常的に交流学習等を行うことができると考えています。</p>

8	○大泉桜学園の小中一貫教育校の取組の効果について疑問である。	<p>○大泉桜学園では、9年間を見通した学習指導によって、指導方法の工夫や改善が図れるようになっていくこと、小中合同行事や幅広い異学年交流が子どもたちの人間性や社会性の育成につながっていること、小中学校教員の協力体制によって学校生活に対する満足度が上がっていることなどが確認されています。</p> <p>○また、発達段階を踏まえ、1～4年生、5～7年生、8・9年生の三期に分けて学習指導や生活指導を行っています。こうした学年段階の区切りを設けることで、各期のリーダーとして4年生、7年生、9年生のリーダー性が育つとともに、小学生が中学生を身近に感じて手本としたり、小学生のよき先輩になろうという中学生の自覚が一層高まったりします。</p>
---	--------------------------------	---

II 新校の教育活動・学校運営等について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
9	○新校の教職員の配置はどうなるのか。	<p>○区では、施設一体型小中一貫教育校であっても、小学校・中学校それぞれの教職員の配置人数は変わりませんが、管理職については、校長1名・副校長3名の体制となります。</p> <p>○施設一体型の利点を活かし、小・中学校の職員室を一体化することで連携強化や移動の負担の軽減等を図るなど、校務の効率化に取り組んでいきます。</p>
10	○一部教科担任制は、先生の負担が減るのでよいと思う。	○新校においては、施設一体型のメリットを活かし、小学校で一部教科担任制の導入について検証するなど、より効率的な指導体制を検討していきます。
11	○校歌はどうなるのか。	<p>○新校の校歌については、児童・生徒や保護者、教職員、地域のご意見を伺いながら検討していきます。</p> <p>○大泉桜学園では、当時の児童・生徒を対象に校歌に入りたい言葉を募集し、小学校・中学校の統一校歌を制作しました。</p>

12	<p>○標準服（制服）は子どもが着たいと思うものがよい。ジェンダーレスの観点から男女ともスラックス等を選択できるとよい。</p>	<p>○新校の標準服（制服）については、小中一貫教育校推進委員会を中心に、保護者や地域等のご意見を伺いながら、導入の有無等を検討していきます。</p> <p>○大泉桜学園では、開校当初は希望者のみ標準服（制服）を着用という形から始め、当時の保護者や地域のご意見を伺う中で、段階的に導入が進み、現在では完全導入となっています。中学生（第7～第9学年）は、標準服（制服）を着用することにより、所属感や学校生活への意欲が高まっています。</p>
13	<p>○学校行事だけでなく、授業やクラブ活動、交流活動等においても、大学や地域の施設等と連携してほしい。</p>	<p>○他自治体の事例等も参考にしつつ、これまで3校が取り組んできた3大学の学生による合唱指導やオペラ鑑賞会、留学生との交流といった大学連携等の活動をさらに充実させるなど、引き続き、保護者や地域等のご意見を伺いながら旭丘・小竹地域の特性を活かした魅力ある学校づくりを進めていきます。</p>
14	<p>○小学校は45分授業、中学校は50分授業だが、同じ校舎内だとチャイムの扱いはどうなるのか。</p>	<p>○小学校・中学校でチャイムの音色を変える、チャイムを鳴らさないことで時計を見て行動する習慣を促すなど、様々な対応が考えられます。</p> <p>○新校のチャイムについては、施設状況等を踏まえながら、学校と相談して検討していきます。</p>
15	<p>○新校の小学校の通学区域外であっても、希望があれば就学できるように配慮してほしい。</p>	<p>○新校における小学校の通学区域は、当面、旭丘小学校の通学区域を基本としています。小竹地域からの希望者の受け入れについては、通学区域の特例を適用し、いずれかの年度から希望する新小学1年生が入学できるよう検討します。</p> <p>【通学区域の特例について】</p> <p>○練馬区小中一貫教育推進方針（平成28年6月策定）では、施設一体型小中一貫教育校において、通学区域が重なる場合の指定校変更による受け入れについて柔軟に対応することとしています。区の施設一体型小中一貫教育校である大泉桜学園においても通学区域の特例を適用しています。</p>

Ⅲ 設計・学校改築等について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
16	○体育館や教室等には冷房を設置してほしい。	○体育館や教室等には、空調設備を設置する計画です。
17	○PTA室は設置されるのか。	○区では、学校施設の標準化の考え方に基づき、今後改築する学校においてはPTA専用室を設けないこととしています。 ○PTA専用室を設置していない学校では、会議室等をPTAの活動場所として利用するなど、学校運営の中で柔軟に対応しています。
18	○渡り廊下を設置予定とあるが、エレベーターを設置するなど、上階への昇降が難しい児童・生徒に対するケアはあるか。	○練馬区福祉のまちづくり推進条例を踏まえ、誰でもトイレの設置等のバリアフリー化を計画しています。その中で、北棟、南棟ともにエレベーターを設置するなど、渡り廊下を円滑に通行できるように検討しています。
19	○旭丘小学校と旭丘中学校の特別支援学級についてどのように考えているのか。	○現在、旭丘小学校には知的障害学級と難聴学級（通級学級）があり、特別支援教室（通室）の拠点校となっています。また、旭丘中学校には、知的障害学級があります。 ○新たな小中一貫教育校には、これらの特別支援学級をすべて設置する考えです。
20	○災害が発生した場合、避難拠点として何人くらいの収容を想定しているのか。	○区では、目安として各避難拠点（学校）に700人程度の避難を受け入れられるスペースや備蓄物資を確保しています。新校については、現状の旭丘小学校と旭丘中学校を併せた1,400人程度の想定です。
21	○2校ともに防災拠点として施設機能を強化してほしい。今回のような感染症併発に備えて、パーティション等も充実してほしい。	○現在、旭丘中学校の体育館は2階にありますが、新校では第一・第二体育館ともに1階に設置し、防災備蓄倉庫を各体育館付近に設置するなど、避難拠点としての利便性がより高くなるよう整備します。 ○区では、感染症対策として、マスク、フェイスシールド、消毒液、非接触型体温計、避難者用屋内テント等の感染症対策物資を各避難拠点に備蓄しています。

22	○学校生活への影響が少なくなるよう、工事期間をできるだけ短くしてほしい。	○児童・生徒の教育や生活環境への影響が少ない建替え方法を検討するとともに、工事期間中の児童・生徒の安全性を確保しながら、工期の短縮を図っていきます。
23	○工事期間中、小・中学校どちらかの校庭・体育館は使えるようにしてほしい。	○校庭については、工事期間中、全面使用はできませんが、工事工程ごとにできるだけ屋外運動スペースを確保できるよう検討していきます。 ○体育館については、工事期間中においても小・中いずれの体育館も使用できるように計画します。
24	○工事期間中に校庭や体育館等の施設利用に制限があるのであれば、指定校以外への転校（区外も含む）を簡単に認めるべきと考えるが、配慮してもらえるのか。	○指定校の変更については、申請理由が区の定める承認基準に合致しており、かつ、希望校に学区外から受け入れる人数の余裕があることが必要です。申請理由や希望を丁寧にお伺いし、個別に審査していきます。なお、区外への区域外就学については、他自治体での審査となりますので、希望する自治体にご相談ください。 ○部活動等については、校内の運動スペースの確保と併せて、校外施設の利用についても検討していきます。
25	○1 学年 2 クラス× 9 学年で 18 教室とのことだが、今後の児童・生徒数の動向は。	○普通教室は、向こう 5 年間の将来人口推計である東京都教育人口等推計等を踏まえ、小学校・中学校ともに各学年 2 クラスを想定して設計しています。 ○また、旭丘小学校・旭丘中学校の児童・生徒に加え、小竹地域から新校への小学校就学希望が一定程度あった場合も受入れ可能な規模に設定しています。
26	○開校後に人気が出て 2 クラス以上になった場合、対応できるのか。	○併せて、小学生と中学生の普通教室の面積を統一して、クラスの増減に柔軟に対応するとともに、少人数教室の転用等の教室の利用方法見直しにより、将来の児童・生徒数増に対応できる計画としています。
27	○通学路が狭いので、道路を拡張してほしい。工事期間中の子どもたちの交通事故も心配である。	○練馬区まちづくり条例に基づき、学校敷地に接する道路のうち、幅員が 6 メートル未満の道路については、道路中心線から 3 メートルの位置まで、学校敷地側にセットバックして拡幅します。

28	○学校周辺の通学路はガードレールなどがなく狭い。敷地をもっとセットバックして道路を広げられないか。	○なお、工事期間中の安全管理については、施工業者が決定後、交通誘導員の配置等を含め検討していきます。 ○旭丘小学校と旭丘中学校の間にある区道は、廃道しない計画としています。児童・生徒の敷地の行き来については、校舎2階部分で接続する渡り廊下を利用します。
29	○小学校と中学校の間にある道路はなくなるのか。	

IV 複合施設等について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
30	○複合施設、体育館やプール等の地域住民への貸出しを検討してほしい。	○複合施設は、各施設の対象者のみの利用を想定しています。学校施設の貸出しについては、現状の地域利用の状況等を踏まえて検討していきます。
31	○学童クラブは栄町からの移転なのか、ねりっこクラブの新設なのか。	○新校に設置する学童クラブは、栄町児童館学童クラブを移転して、校内学童クラブ（または校内ねりっこ学童クラブ）として運営します。 ○ねりっこクラブについては、利用する児童の利便性等を考慮し、複合施設内の児童館と近接した場所への配置を計画しています。
32	○他自治体の学童クラブのように、小学校6年生まで利用できるよう検討してほしい。	○高学年については、当面の間、児童館等の併設学童クラブ、ねりっこひろば、学校応援団ひろば等において受入し、異年齢の児童との交流を通じて、児童の健全な育成を推進することとしています。早期に全小学校で「ねりっこクラブ」を実施することで、学校施設内で高学年を含むすべての子どもたちの放課後の居場所を確保していきます。
33	○ねりっこクラブは工事のどの段階で完成し、利用できるようになるのか。	○新校舎内には、学童クラブ室、ひろば室を整備し、整備完了後、年度切り替えのタイミングを目途に、ねりっこクラブを実施する予定としています。 ○現在、旭丘小学校に通学する児童が利用する学童クラブとしては、栄町児童館学童クラブを主にご案内しています。新校舎完成までは、引き続き児童館学童クラブをご利用ください。
34	○工事期間の学童保育はどんな形態になるのか。現状の体制を含めて教えてほしい。	

35	○街かどケアカフェとは、具体的にどのような施設か	○高齢者をはじめとする地域の方が立ち寄り、介護予防について学んだり、専門スタッフによる健康相談ができたります地域の拠点です。認知症カフェや薬の講座など、様々な事業を実施しています。
----	--------------------------	--

V 小竹小学校について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
36	○小竹小学校の今後の対応はどうか。	○新たな小中一貫教育校の設置については、児童生徒数・学級数の現況および将来推計を踏まえ、旭丘小学校と旭丘中学校を先行して、準備を開始することとしています。 ○小竹小学校については、今後の児童数の動向等を見定めつつ、引き続き、保護者や地域の皆様からご意見を伺いながら検討していきます。 ○令和8年度の新たな小中一貫教育校の開校段階で、小竹小学校を統合する予定はありません。
37	○小竹小学校の児童は、卒業後どの中学校に進学するのか。	○小竹小学校の児童については、原則として旭丘中学校へ進学することとしています。
38	○小竹小学校は適正規模であるのに、なぜ統合の対象なのか。	○小竹小学校については、現状は適正規模となっていますが、旭丘小学校・旭丘中学校については今後も適正規模の確保は困難な見込みです。 ○また、区全体の人口推計では、今後、年少人口は減少傾向となる見込みであり、3校を再編し新たな小中一貫教育校を設置するという基本的な考え方については変更しておりません。
39	○小竹小学校の校舎の安全性はどうか。	○小竹小学校の施設状況については、平成21年度に耐震改修工事が完了しています。その後も、日常点検のほか、定期点検や法定点検を行い、適切な維持管理を行っています。引き続き、施設状況を適切に把握したうえで必要な改修等を行うことで、児童の安全を確保していきます。

VI その他

No.	主な意見	意見に対する区の考え
40	○練馬区全体として、小規模校を統合して規模を大きくする計画は今後も続いていくのか。	○区としては、一定の規模での集団生活や学習活動、クラス替えなど、様々な要素を考慮して適正規模の考え方を検討しています。 ○今後の計画については、35人学級の実施や社会状況の変化等を見定めつつ、子どもたちの学びの環境を確保できるよう検討していきます。
41	○小規模校にはその良さがあり、魅力を感じている方々もいる。適正化を図れば良いという訳ではない。	○国は学校教育法施行規則において、学級数の標準規模を12～18学級と定めています。教育委員会では、小学校では全学年でクラス替えを可能とし、同学年に複数の教員を配置できること、中学校では生徒同士の交流や学習面、部活動の充実を図るため、いずれも12～18学級を適正規模としました。児童・生徒数の減少が予測される中、子どもたちが良好な教育環境の中で学び成長することができるよう適正配置を進めることとしています。 ○一方、算数・数学、英語など教科の特性によって、少人数で行った方が効果的な教科については多くの区立小中学校で少人数教育を実施しており、これからも充実していきます。
42	○新校の検討状況等についてホームページ等で情報発信を行ってほしい。	○説明会で使用した資料やいただいた主なご意見および区の考え、また、保護者および地域の代表等で構成する小中一貫教育校推進委員会の主な内容等について区ホームページに掲載しております。 練馬区ホームページ > 子育て・教育 > 教育 > 学校教育・施設 > 小中一貫教育の推進 > 施設一体型小中一貫教育校 > 現在進めている取組 (旭丘・小竹地域における新たな小中一貫教育校)



新校に残したい

メモリアル品がまとまりました!



今後検討していくこと

現在、校名などの決め方について検討しています!

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
校名	検討	★ 仮決定・公表		★ 正式決定(規則改正)	開校
校章	検討		★ 決定	(校章バッジ等の作成)	
校歌	検討		★ 作成	(校歌板等の作成)	
標準服	標準服を作るかの検討	★ デザイン検討	★ 決定	(作成・販売準備)	

「小中一貫教育校だより」は、旭丘中学校の通学区域である旭丘・小竹地域を中心に
お配りしています。

【お問い合わせ】小中一貫教育校推進委員会事務局
練馬区教育委員会事務局 教育振興部
教育施策課 教育施策担当係
☎ 03-5984-1034 FAX 03-5984-1221
✉ ATGAKKO@city.nerima.tokyo.jp

皆さんへのアンケートの結果をもとに、
メモリアル品を2つに分類しました

- A** 現物を新校に持っていくもの
- B** 写真・動画として残すもの

※ Bのうちの一部は希望者にお譲りします

304名(合計1,981件)のご意見をいただきました!

結果は
次のページを見てね!



アンケート結果をもとに、このような保存方法を考えています！

A 現物を新校に移設するもの

【 】の数字はアンケート順位

B 写真・動画として保存するもの

【 】の数字はアンケート順位

	旭丘小学校	旭丘中学校
校内のショーケースに展示	 <p>【1】 心のかぎ</p>	 <p>【1】 校名版</p>
	 <p>【2】 トロフィー、盾、メダル等 (一部)</p>	 <p>【2】 校旗</p>
	 <p>【3】 校旗</p>	 <p>【5】 〔部活動〕トロフィー、盾、メダル等 (一部)</p>
	 <p>【5】 校名版(1~2枚)</p>	 <p>【7】 〔野球部〕トロフィー、盾等 (一部)</p>
	 <p>【6】 校章パネル等</p>	
	 <p>【他】 クラスプレート</p>	
屋外に展示 (位置は未定)	 <p>【7】 二宮金次郎像</p>	 <p>【3】 クマの銅像</p>
	 <p>【10】 学校創設記念碑</p> <p>※かなり古いものであるため、移設時に破損の可能性あることをご了承ください。</p>	 <p>【8】 石碑「徳峯智泉」</p> <p>※かなり古いものであるため、移設時に破損の可能性あることをご了承ください。</p>

旭丘小学校	旭丘中学校
<p>【4】 校歌 (木製)</p> <p>【8】 賞状</p> <p>【9】 壁掛けパネル (オリンピック関係)</p> <p>【11】 航空写真</p> <p>【12】 メタリックアート</p> <p>【13】 校歌 (板)</p> <p>【14】 絵画「早春」</p> <p>【15】 魚の彫刻</p> <p>【16】 石像</p> <p>【17】 顔のタイル</p> <p>【18】 旭丘ブギウギ</p> <p>【19】 絵画「ゲルニカ」</p> <p>【20】 石碑 (昭和10年10月18日)</p> <p>【21】 粘土製の顔</p> <p>【22】 絵画「ミロホアン」</p> <p>【他】 ビオトープ、あさひ山、桜の木、夏みかんの木、枇杷の木、ジャングルジム</p> <p>※ A のうち、移設しないトロフィーや校名版などは写真や映像で残します。</p> <p>※ 図書室の本などは学校で対応。</p>	<p>【4】 校歌 (布製)</p> <p>【6】 石碑「校歌」</p> <p>【9】 〔部活動〕賞状、写真等</p> <p>【10】 〔野球部〕軟式野球大会出場記念</p> <p>【11】 航空写真</p> <p>【12】 賞状、感謝状</p> <p>【13】 校舎イメージ図</p> <p>【14】 灯籠</p> <p>【17】 書「何を求める風の中いく」</p> <p>【18】 書「教育目標」</p> <p>【18】 旭丘町会70周年記念すみ乃南玉氏寄贈 ※寄贈者が分かれば返却も検討</p> <p>【20】 壁掛けパネル (刺繍)</p> <p>【他】 制服、和室、梅の木、中庭の草木</p> <p>※ A のうち、移設しないトロフィーや賞状などは写真や映像で残します。</p> <p>※ 【15】の時計、【16】の木碑「念ずれば花ひらく」(過去の校長先生の作品)、【その他の回答】の時計や図書室の本などは学校で対応。</p>

新校に移設しないメモリアル品をお譲りします！

上記のうち、児童・生徒や卒業生などへ譲渡できるものは、現校舎を解体する前に学校のホームページ等でお知らせし、お渡しする場を設けます。

旭丘中学校
令和5年度前半予定

旭丘小学校
令和7年度予定

